

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 138

2020/02/20/Thu

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

2年自然教室まであと5日 卒業式まであと18日

出雲阿国、江戸城内で歌舞伎踊り 1607年

プロレス作家小林多喜二、31歳で暗殺される1933年

東大ポロロ事件

1952年

アメリカ初の有人宇宙飛行成功 1962年

1・2年生の保護者の皆様、ご出席ありがとうございました！

授業参観・保護者会、お世話になりました！

学校評議員の皆様と意見交換と授業参観！



授業参観・保護者会 …2/17(月)に今年度最後の授業

参観と保護者会が行われました。保護者の皆様には、お忙しい中、また、お足元が悪いにも関わらずご出席いただき、ありがとうございました。

どの授業も参観者が多く、保護者の皆様の教育意識の高さがうかがえました。

I C T機器の教育活用が進み、電子黒板を使った授業も多く見られました。また、コミュニケーション能力・表現力の向上を図るため、グループで話し合ったり自分の考えを発表したりするなど、生徒の力を伸ばそうとする授業も多くありました。

今後も、より良い授業づくりに努め、生徒の伸び代を広げられるよう

にしていきたいと考えています。

学年保護者会では、学校での生活や学習の様子、進路等についての情報や修学旅行についての説明を熱心に聞いてくださり、重ねて感謝を申し上げます。

学校評議員の会議 …学校評議員の皆様も授業を参観されました。その後、「学校評価」(保護者及び生徒アンケート、教職員評価)の結果を基に考察・対策等について学校側から説明しました。

学習指導、キャリア教育・進路指導への取組、生徒指導上の問題点、組織運営等について幅広く評議員の皆様からご意見をいただきました。

日頃、学校の中にいると気付かないでいることが、別の角度から見ると、また異なる見方、視点で新たな



発見があったりするものです。本当に貴重なご意見に感謝いたします。ありがとうございました。

これまで実施してきたアンケートの声や今回のような会議でのご意見を参考に、今後の学校運営、学校づくりに生かして参りたいと思います。

「生きる力を育む活動」の実践を通して

～「たこ焼きパーティ」を18日(火)に開催～

特別支援学級が「3年生を送る会」として「たこ焼きパーティ」を開催し、賑やかに楽しく行われました。買い出しで食材をそろえ、下準備、生地作り、そして焼く作業。どうすれば美味しいたこ焼きができるか？たこ以外に何を入れるといいか？どのようにすれば丸い形に作れるか？また、食べる際には、何をどのようにトッピングすると、さらに美味しく食べることができるのか？うまく工夫して考えながら作っていました。



たこ焼き職人の如く、真ん丸のたこ焼きを作っていた生徒もいて、手先の器用さに感心しました。会食する際には、最高の笑顔でアツアツのたこ焼きを口に運んでいました。準備から後片付けまで、しっかりと「生きる力」を身に付けた時間でした。



みんなで考えよう！ 何のために勉強をするのか？…④

今までに紹介した人たちの答えや考えのポイントをまとめてみました。

- ①勉強の魅力をつかみ 人生を前向きに生きていこう！ 無駄な勉強は一つもない！
- ②勉強の楽しさに早く気づこう！ 勉強は自分のためにするものだ！
- ③自分の夢を実現するために 難しい勉強でも勉強しているんだ！
- ④勉強を一切やめてしまったら どうなってしまうのか 想像してみよう！
- ⑤脳細胞も筋力も 若い時の訓練によって発達するのだ！

君なら、どれが一番あてはまる考えですか？自分自身に「勉強やるぞ！」という意識を持たせるよう工夫すること！このことは勉強に限らず、スポーツや文化活動など部活動にもあてはまることです。まずは、今まで自分自身の学習に対する取組はどうであったかを反省することからスタートし、早く前向きに勉強を始めてほしいと願っています。

人生をデザインするために…青少年教育が専門の岩橋先生は次のように言っています。

あなたに信じてほしいことがあります。それは、あなたには他の人にはない独特の尊い持ち味が与えられている、ということです。…(中略)…尊いというのは優れているということとは違います。他人と比較して優れているとか劣っているとかの優劣の比較を超えて、それ自体がかけがえのない尊さなのです。このようなかけがえのない尊い持ち味を見つけ出して、それを100%発揮して自己実現の喜びを味わう人生、それが幸福な人生ではないでしょうか。

岩橋文吉(九州大学名誉教授)

この授かった尊い「持ち味」を見つけ出すことが「勉強」であるという。その第一歩は学校での各教科の学習に全力を挙げて取り組んでみることにしよう。そうすることで、自分の得意分野や興味・関心のある分野が分かってくるからだ。続いて…その分野を鍛え、自分の持ち味をさらに高める努力をすることも勉強。また、家庭や学校をはじめとする集団の中で持ち味を発揮しつつ「公のため、社会のために何ができるか」という点を追求していくことも大切な勉強。こうして生きがいのある人生をデザインすることが「立志」であり、これこそ「人はなぜ勉強するのか」という問いに対する基本的な答えではないかと岩橋先生は言います。

